

I. 前回関係

1. 前回 (H30/11/12 開催) 調査・研究部会議事録の確認 (資料-30-4.0, pp.1-5)

・前回 (H30/11/12 開催) 調査・研究部会議事録が確認された。

2. 理事会 (H30/11/30、12/21 開催) 審議結果とその対応 (資料-30-4.1, pp.6-18)

・中野部長より理事会 (H30/11/30, H30/12/21 開催) の調査・研究部会に関連する審議結果について報告された。研究発表会の各種申込み入金管理の外注化、研究発表会概要集のweb サイトダウンロード化、還付金ルールについてすべて承認されたが、外注化に伴う事務職員の職務分担を効率的に行うこと、申込みから振込のスケジュール案を示すことが確認された。ダウンロード化について、パスワード設定等をプロセスの詳細を詰めるべきとの意見があった。これについては研究発表部会、トータル企画で対応を詰めることとなった。また研究発表会概要集のweb サイト電子データを研究発表会後に速やかに電子図書室へ掲載することを確認した。

・2020年1月より学会誌の完全電子化について報告があった。

II. 全体関係

[審議事項]

1. 調査・研究部 平成31年度第二次予算案 (資料-30-4.2, pp.19-21)

・中野部長よりH31年度第二次予算案について説明があり、承認された。

2. 調査・研究部 平成31年度事業計画「まえぶん」(案) (資料-30-4.3, pp.22-30)

・中野部長よりH31年度事業計画「まえぶん」(案)について説明があり承認された。この際、研究発表会の(大宮大会)を(さいたま大会)へ統一してほしいとの意見があり、これを了承した。

3. 名誉会員候補者の推薦依頼 (資料-30-4.4, p.31)

・1月15日締切

・調査・研究部会からは該当者なしで承認された。

4. 調査・研究部 部員の追加

高井 敦史 氏 (京都大学)

※JGS 会員 第55回地盤工学研究発表会実行委員会からの推薦

・中野部長より上記について報告があり、承認された。

[報告事項]

5. 調査・研究部 平成30年度予算執行状況(11月末現在) (資料-30-4.5, p.32)

・事務局より報告された。予定通り予算は執行されている。

6. 東日本大震災合同調査報告書の商品在庫数(11月末現在)

Aセット(3冊組、20,000円):8セット/100セット、 Bセット(2冊組、14,000円):190セット/200セット

共通編:13冊、 地盤編1:204冊、 地盤編2:149冊

・事務局より報告された。

III. 研究・連携・情報委員会

[審議事項]

7. 研究委員会関係

1) 平成31年度新設研究委員会テーマ案公募結果 (資料-30-4.6, pp.33-39)

・中野部長より4件の新規応募があったことが報告された。予算の関係上、ですべてを新規として認める事はできないため、緊急性を考慮し、2.地盤環境汚染対策...(委員長:大阪大学乾氏)、4.未曾有の豪雨により...(委員長:山口大学鈴木氏)の2件の採択が承認された。

・両委員会とも3年目でのシンポジウムの開催を打診する。

・次年度の新規委員会の応募では委員長だけでなく委員会主要メンバー(案)も示すように求めることが確認された。

・不採択となった委員会には中野部長より連絡を行う。

8. シンポジウム関係

審議事項なし

9. 情報関係

1) 図書室運営に関する課題と細則の見直しについて(意見集約) (資料-30-4.7, pp.40-42)

・細則見直し案の図書室への入室管理について徹底することが確認され、これを承認した。なお細則見直し案に対し、意見がある場合はメールにより連絡することとなった。

- ・電子図書室と図書室の棲み分けについては継続して議論する。
- ・H31年度に予算30万円をあてて図書のデータベースを作成する。
- ・細則の内容を精査後に理事会へ提出する。

[報告事項]

10. 研究委員会関係

1) 研究委員会活動状況報告

高橋部員：エネルギーに基づく液化化予測手法に関する研究委員会
森口部員：社会実装に向けた新しい地盤環境管理と基準に関する研究委員会
鈴木部員：3Dプリンターによる岩盤の復元に関する研究委員会
橋本部員：次世代地盤改良技術に関する研究委員会

・各委員会の活動状況について報告された。

2) 「福島第一原子力発電所廃止措置に向けた地盤工学的新技术と人材育成に関する検討委員会（略称：廃炉地盤工学委員会）」

a. 「福島第一原子力発電所の廃止措置への貢献を目指す『廃炉地盤工学』」に関する講習会 開催報告
日時：平成30年12月18日（火） 14:00～17:30 場所：JGS会館 参加費：無料
参加者数：91名

b. 平成31年度継続契約積算資料および契約関連書類の作成依頼 **(資料-30-4.8, p.43)**
廃炉地盤工学委員会が担当している標記事業について、別紙資料のとおり、書類作成依頼があった（1/18と3/29縮切）。

・後藤委員より上記について報告された。

・来年度はさいたま大会で特別セッション、講習会を行う計画であること、また最終報告書の作成を予定している。

11. シンポジウム関係

1) 第61回地盤工学シンポジウム 開催報告 **(資料-30-4.9, p.44)**

日時：平成30年12月14日（金） 場所：JGS会館 参加者数：114名
収入：668,000円 支出概算（直接費のみ）：93,280円 事務経費（収入の20%）：133,600円
収支差（事務経費込み）：441,120円 収支差（直接費のみ）：574,720円

・中野部長により上記について報告された。論文集のDL化が行われ、データの電子図書室への移行を1月中に行うことが確認された。

2) エネルギーに基づく液化化予測手法に関するシンポジウム（2019.3.26、地盤工学会会議室）準備状況報告 **(資料-30-4.10, p.45)**

- ・投稿論文予定数は14編。そのうち11編が特別号への掲載を希望している。
- ・報告書はCD版を基本としている。1枚あたり1000円未満であり、予算上問題なし。
→当初確保していた予算(2000円/冊)
- ・有意義なシンポジウムとするために、報告書は事前に参加者にダウンロード式で配布する予定。
→事務局へ連絡済み。費用はかからない。
- ・製本版希望者への対応
①参加募集の段階で製本版の希望をとる。希望人数に応じて別費用で受ける。
→参加募集の会告に記載、提出済み。
②シンポジウム終了後、1ヶ月程度の注文販売を予定している。
→次年度の論文冊子販売収支予算を提出済み
- ・参加募集の会告原稿は提出済み。十分な投稿論文が集まったことから、参加募集を少し前倒し、12月のメールニュースから参加募集を行っている。
- ・地盤工学ジャーナル特別号の対応
→シンポジウム開催から1ヶ月後にシンポジウム用の論文を締め切る予定。
→その後、査読を行い、12月頃の発行を目指す。論文申込件数：16件

・高橋委員より上記について報告された。

3) 第13回環境地盤工学シンポジウム(2019.9.11-12(予定)、札幌市)準備状況報告

1月10日に会場申込み予定。会場費(137,200円)は申込時に支払い。

・70周年記念の冠がつくことが確認された。

・正しい日程は2019.9.10-11

IV. 研究発表会委員会

[審議事項]

1 2. 第54回地盤工学研究発表会

1) 国際交流セッション

(資料-30-4.11, p.46)

・内村委員より上記について報告され、以下の意見が出された。

・国際交流セッションは、一般の論文発表とは異なり、交流を目的とする。

・実行委員会とダイバーシティとの共同企画とする。

・サロンドカフェのように、場所・時間を柔軟に考えて開催することも検討してはどうか?

・企画の内容について、実行委員会(内村、清木)で具体化し、速やかに調査・研究部でメール審議して、議了されたら理事会へ報告することが確認された。

2) 若手座長制度のルール作り

・高野委員よりさいたま大会での準備状況について説明があった。14社へ田中・木村副会長より依頼済み。ルールについては継続して議論を行う必要がある。

3) 発注者に技術展示への来場を誘導する方策の検討

・行政から展示を出してもらう案が出された。この際、行政の展示料をさげるなど対策をとっても良いのではという意見があった。

[報告事項]

1 3. 第54回地盤工学研究発表会準備状況

1) 論文投稿サイトの開設・運用・保守等の見積り依頼先選定理由(12/10総務部会承認済) (資料-30-4.12, pp.47-57)

2) 今後のスケジュール

(資料-30-4.13, p.58)

2/3 申込み〆切

2月中旬～ 事前準備(セッションへの割振り、発表順、座長の仮決定)

3/3 論文投稿〆切

3月 日 プログラム編成会議(プログラムの確定)

・事務局より準備状況および今後のスケジュールについて説明された。講演料の支払いは郵便局と銀行振り込みはこれまで通り、電子決済はサイトが出来次第案内する。3月3日までに電子決済サイト準備完了予定である。

3) 若手座長依頼

・ゼネコン、地質調査会社、コンサル、計14社へ、12月12日に依頼(各社3名まで)。1月23日推薦締切。

V. その他

1 4. 創立70周年記念事業の調査・研究部担当

1 5. 調査・研究部の今後の方向性について

(資料-30-4.14, pp.59-95)

・大竹幹事より資料の説明された。70周年事業としては委員会の歩みをまとめる。

・調査・研究部の今後のあり方については次回委員会をめぐりにたたき台を作成する。

1 6. 理事会(平成31年1月25日(金))開催への審議事項・報告事項

[予備審議事項]

なし

[審議事項]

1. 調査・研究部 部員の追加

2. 平成31年度新設研究委員会について(資料あり)

3. 図書室運営細則の変更(資料あり)

[報告事項]

1. 第61回地盤工学シンポジウム 開催報告(資料あり)

2. エネルギーに基づく液化化予測手法に関するシンポジウム (2019.3.26、地盤工学会会議室) 準備状況報告

3. 第54回地盤工学研究発表会準備状況

17. 総務部会 (平成31年1月15日 (火) 開催予定) への提案事項

18. 次回以降の部会・運営会議開催日

・30年度第5回調査・研究部会 (電子会議) :平成31年 月 日 () 時～

・31年度第1回調査・研究部会 (会合 or 電子会議) :平成31年 月 日 () 時～

・次回委員会は2019年3月8日午後を第一候補として、電子会議で開催する。詳細はメールで確認する。

★ 平成30年度 理事会 開催日程 (予定含む)

① 4月20日 (金) ※書面審議

② 5月18日 (金)

★ 6月6日 (水) 総会/理事会

③ 6月15日 (金) ※書面審議

④ 7月20日 (金)

⑤ 9月28日 (金)

⑥ 10月26日 (金) ※書面審議

⑦ 11月30日 (金)

⑧ 12月21日 (金) ※書面審議

⑨ 1月25日 (金)

⑩ 2月22日 (金) ※書面審議

⑪ 3月15日 (金)

⑫ 4月19日 (金) ※書面審議

⑬ 5月17日 (金)

★ 6月7日 (金) 総会/理事会